

春から晩夏まで楽しめる！セミの仲間 秦野ビジターセンター

春、鳥たちのさえずりに紛れて聞こえ始める虫の声があります。それはセミの声。早ければ4月中旬頃から鳴き始め、種類が移り変わりながら晩夏まで楽しめます。まず鳴き始めるのは「ハルゼミ」。深緑の頃、「ムゼームゼー」とアカマツの多い森から聞こえる不思議な声です。高標高域のブナ林では5月下旬頃から、晴れると鳴くお天気ゼミの「エゾハルゼミ」が「ミョーキョーキョーキョー・ケケケケケ…」の大合唱を始めます。秦野ビジターセンター周辺では、6月下旬～7月上旬頃「ニイニイゼミ」や「ヒグラシ」の鳴き始めをスタッフが今か今かと耳を澄ませます。

夏、ブナ林では「エゾハルゼミ」から「コエゾゼミ」の「チー」という単調な声に変わり、ビジターセンター周辺でも「アブラゼミ」や「ミンミンゼミ」「クマゼミ」そして「ツクツクボウシ」の声が加わります。年によっては、10月中旬になっても「ヒグラシ」や「ツクツクボウシ」が鳴いていたこともありますよ。

皆さんの地域では、何月頃まで、何種類の声が聞こえてくるのでしょうか？特徴的な声をたよりにぜひ調べてみてください！

※丹沢には、他にもセミの仲間が生息しています。

(執筆：谷脇)



成熟して腹部のオレンジ色が目立つエゾハルゼミ



W字の模様が目立つコエゾゼミ

自然公園へでかけよう



公式SNSは二次元コードから！

県立秦野ビジターセンター
Hadano Visitor Center
〒259-1304 秦野市堀山下1513
Tel 0463-87-9300
<https://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>



X(エックス)



X(エックス)

県立西丹沢ビジターセンター
(旧西丹沢自然教室)
Nishi-Tanzawa Visitor Center
〒258-0201 足柄上郡山北町中川867
Tel 0465-78-3940
<https://www.kanagawa-park.or.jp/tanzawave/>

環境省箱根ビジターセンター
Hakone Visitor Center
〒250-0522 足柄下郡箱根町元箱根164
Tel 0460-84-9981
<https://hakonevc.sunnyday.jp/>



Facebook

箱根のツツジ



シロヤシオ(ゴヨウツツジ)

箱根ビジターセンター

春も本格的に始まり暖かく気持ちのいい時期になると、箱根はツツジの素晴らしい季節になります。新緑に調和するツツジの花景色を楽しんでみてはいかがでしょうか。

箱根には約20種ものツツジの仲間が自生しており、ハイキングに行く先々でたくさんの出会いがあります。

中でも人気を博しているのが「シロヤシオ(別名ゴヨウツツジ)」です。白が際立つ純白なツツジであり箱根では金時山で見ることができます。

また、天皇皇后両陛下のご息女愛子様のお印(身の回りに付ける記章)にも用いられており、一際特別なツツジと言っても過言ではありません。例年GWを過ぎた頃、シロヤシオを探すために、楽しみがまた一つ増えそうです。

そして他にも、箱根でたくさん見られる朱色の花が美しい「ヤマツツジ」、まだ春前の寒いうちから釣鐘のような可愛らしい花をつける「アセビ」、箱根を基準産地とする一属一種の「ハコネコメツツジ」、昆虫たちが殺到する「サラサドウダン」、爽やかな酸っぱい味の「スノキ」などが見られます。ツツジに囲まれた気持ちの良い季節の到来です。

(執筆：加藤)

春に目覚めるカエルたち

西丹沢ビジターセンター

西丹沢ビジターセンターのすぐ近くを流れる西沢では、春になると4種類のカエルたちが産卵のために姿を見せ始めます。ヤマアカガエルは雪解け水のたまる浅い場所で産卵し、黒い帯状の卵が目印です。カジカガエルは流れのある沢に住み、河原の石の下や岩の割れ目に卵を産みます。アズマヒキガエルはゆっくりと水辺へ移動し、一匹のメスを求めて多くのオスが死闘を繰り広げる、通称「カエル合戦」という繁殖行動を繰り広げます。モリアオガエルは、天敵から卵を守るため、池の上などにかかる木の枝や草の茎などに泡状の卵塊を作り、かえったオタマジャクシは雨とともに下にある水の中へ落ちるといったギミック満点な手法を凝らします。

春はカエルも含め動物たちにとって、繁殖や子育てといった命をつなぐ大切な季節でもあります。登山や散策の際は出来るだけ静かに観察し、彼らを驚かせないようにご配慮ください。末永くこの豊かな春を感じられるよう、そっと静かに見守りましょう。

(執筆：須藤)



アズマヒキガエル



モリアオガエル



モリアオガエルの卵塊